

お法使祭の歴史を紡ぐ

お法使祭の今昔写真集が完成

寺中の津森神宮で600年以上の歴史を持つ「お法使祭」の今昔写真集が、益城、西原、菊陽の3町村の編集委員と同神宮によって制作されました。

写真集はA4判、56ページで一部カラー。3町村11地区で戦後に撮影された写真を、個人やアマチュアカメラマンなどから借り受け、約250枚収録しています。編集に携わった山野

勲さん(田原)は、「祭りのやり方も、以前はズいぶん違っていたことが分かりました。調べの中で、音頭も出てきて収穫の多い作業でした」と話していました。

写真集のお求めは、山野さん(☎28612661)または森川恭一さん(杉堂☎28613846)、前田勝さん(上小谷☎28619008)、Yシヨップよしだ寺中☎28614497)まで。



戦後の祭りの様子が見て取れる写真集

伝統の「能」鮮やかに

新作能「五輪書-武蔵伝-」公演

町文化会館で2月18日、喜多流による新作能「五輪書-武蔵伝-」が演じられました。満席の中、最初に演じられたのは狂言「千鳥」。コミカルな動きや表情、絶妙な掛け合いを披露すると、客席からは笑い声があがりました。その後、「五輪書-武蔵伝-」が始まると場の雰囲気も一変。豪華な衣装に能面を着けた能楽師が現れると、思わずカメラを手にする観客も。文化協会の末武有二さんは、「古い能の本当の舞台、それを本町で初めて行ったことは大変有意義。町の文化振興の一助になれば」と話していました。

会場の外では子どもお茶教室による茶席が設けられ、能の舞台に華を添えました。



二刀を振りかざす宮本武蔵の霊



3位に入賞した上益城郡チーム

チーム一丸で3位入賞

第38回都市対抗熊日駅伝大会

2月12日、第38回都市対抗熊日駅伝大会が天草市役所前をスタートし、びぶれす熊日会館前をゴールとする14区間、105.3kmで争われました。優勝を目指した上益城郡チームは、3区で本町の原田秀哉選手(鎮西高2年)が出場し力走。チームは5時間30分14秒で3位に入りました。優勝は5時間27分34秒で天草市、2位には5時間29分59秒で球磨郡が入りました。

上益城郡選手団・町内関係者(敬称略)

監督/村山浩敏(九州柳河精機)、コーチ/内田博也(町教育委員会)、3区/原田秀哉(鎮西高2年)、補員/緒方健太郎(第42普通科連隊)、中村流星(九州学院高2年)、西村航大(木山中1年)